

会 議 録

1 会議名

令和5年度 第1回上越市自立支援協議会

2 議題（すべて公開）

(1) 会長副、会長選出

(2) 自立支援協議会について

(3) 第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画の策定について

3 開催日時

令和5年5月26日（金） 午後2時から午後3時10まで

4 開催場所

市役所木田第一庁舎 401 会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：平原委員、江部委員、樺澤委員、中屋委員、小林委員、山口委員、片桐委員、植木委員、岩佐委員、重野委員、阿部委員、芋川委員、池亀委員、吉田委員、松原委員、大久保委員、富井委員、西山委員
- ・ 事務局：小林健康福祉部長、福祉課 丸田課長、橘副課長、八木副課長、小松係長、上田主任

8 発言の内容 (要旨)

- (1) 開会
- (2) 委嘱状交付
- (3) 挨拶

【小林部長】

- ・本日は大変お忙しい中、今年度の第1回自立支援協議会にお集まりいただき感謝申し上げます。
- ・今年度は、第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画における計画期間の最終年度に当たるため、今年度のうちに計画の改定を行い、来年度以降の3ヵ年の計画を策定していく年となる。
- ・については、通常の自立支援協議会とは違い、開催回数も多くなっているが、ぜひ皆様から色々なご意見をいただければと思っている。
- ・10年以上前だが、介護保険の給付費が200億円程度だったのに対し、障害福祉サービスの給付費は20億円程度であり、10倍の開きがあったと記憶している。
- ・しかし、年々、障害福祉サービスの給付費が伸びてきており、もちろん不足している部分もまだまだあるが、だんだんと皆様にサービスが行き届いてきている一つの証であると捉えている。
- ・次期計画の策定にあたり、そういったサービス量などについても話題に挙がってくるかと思うが、できるだけ障害者の皆さんに寄り添ったサービス等を提供していきたいと思っているので、ぜひ忌憚のないご意見をいただければと思う。

(4) 議題

ア 議題(1) 会長、副会長選出

- ・会長に大久保委員、副会長に片桐委員を選任。

イ 議題(2) 自立支援協議会について

【事務局 (小松係長)】

- ・資料1により説明
(意見なし)

ウ 議題(3) 第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画の策定について

【事務局 (丸田課長、小松係長)】

- ・資料2-1、資料2-2、資料2-3、参考資料により説明

【片桐委員】

- ・アンケート結果で強度行動障害を含む重度障害児者の支援が不十分であることが課題に挙げられているが、医療的ケア児の支援については触れられていないことが気になる。

【西山委員】

- ・私も同意見。
- ・一昨年に医療的ケア児支援法が施行されたが、ひとえに医療的ケア児と言っても、その程度や状態によって必要な支援は様々であり、市内ではまだまだ十分な受け入れ態勢が整っているとは言えない。
- ・市内でも医療的ケア児を受け入れてくれる事業所の整備が進んでいるが、数が少ないために競争が少なく、サービスの質の確保や保護者の要望が届きにくいという課題も感じている。
- ・市内での受け入れ先が限られているため、感染症などで事業所が使えなくなったときに、子どもをどこに預けたら良いのだろうという不安もある。
- ・親の就労に関する悩みもある。医療的ケア児を保育園に預けたときに、保護者の同伴を求められる場面が多くあり、保護者の就労のために保育園に預けているのに保護者の同伴を求められるという相反する状況を誰に相談すればよいのか、誰が伴走してくれるのかと常に悩んでいる。

【事務局（丸田課長）】

- ・資料 2-3 で説明したのは、障害者関係団体及び事業者から回答いただいたアンケートの結果であり、医療的ケア児の支援についての課題は、現在、集計中の市民向けのアンケートの中で挙がってくるのではないかと思いますので、次回の自立支援協議会の中でその結果をご報告させていただく。

【大久保委員】

- ・昨年、一昨年と自立支援協議会の重心医療的ケア部会の中で、医療的ケアを必要とする障害児の保護者及び介護者向けにアンケート調査をしたので、その結果も委員の皆様に見ていただきながら、計画策定の参考資料にしてもらえばありがたい。

【松原委員】

- ・強度行動障害の支援体制が弱いということで、昨年、市内 6 法人を訪ね、支援体制の強化と強度行動障害及び重度障害の方のグループホームの設置をお

願いましたが、人手不足などの理由から前向きな回答が得られなかった。

- ・各法人の方にはもっと状況を理解していただいて、世のため人のためという使命をもう一度考えていただきたい。
- ・また、市民ニーズ調査アンケートについて、手帳保持者から 1,500 人を抽出して、そのニーズを捉えるとのことだが、手帳は障害ごとに 3 種類あり、それぞれ取得割合が異なるのに、それらを 1 つの母集団として抽出したときに果たして障害者のニーズをしっかりと捉えられるのか疑問に思う。
- ・障害の種類によって、また、同じ障害であってもその程度によってニーズは違うのに、それをひとまとめにしてしまうのはおかしいと思う。
- ・もう一つ、現行計画である上越市第 6 期障害福祉計画・第 2 期障害児福祉計画の 46 ページ図表 6-4 に、アンケートの回答者の手帳の種類と等級が記載されているが、療育手帳をお持ちの方が全体の約 5 割なのに対し、身体障害者手帳をお持ちの方は 3 割弱である。
- ・手帳の保持者から無作為抽出をすれば、この割合は、本来、各手帳の取得割合に応じた数値になるはずなのに乖離があり理論的ではない。
- ・今回も同じやり方での調査で良いのか。

【事務局（丸田課長）】

- ・現行計画の 46 ページの件については、回答率が 100%であれば手帳の取得割合に沿った結果になるのだろうが、当時のアンケートの回答率が 70%であるので結果としてこのような数値になっているのだと思う。
- ・今回、アンケートを送った 1,500 人の内訳は、各手帳の取得割合に応じて障害の種別ごとに数を算出している。
- ・現行計画策定の際よりも、さらに詳しくニーズを捉えようと総数も 500 人増やしている。

【事務局（小林部長）】

- ・前回の調査結果を見ると障害の種別ごとのニーズが分からないようになっているので、今回は結果をまとめる際にクロス集計をするなどの工夫をすることで解決したい。

【松原委員】

- ・手をつなぐ育成会で、上越市内の生活介護を利用している方全員に対して、親亡き後を考え将来どういう住まいを希望するかアンケート調査をした結果、「施

設入所希望」、「グループホーム後に施設入所希望」だけで7~8割いた。

- ・しかし、現行計画の47ページ図表6-6、今後どのように暮らしたいかを調査した結果を見ると「今のまま暮らしたい」が圧倒的に多くなっている。
- ・すべてのニーズを捉えるのは難しいが、もう少しニーズを捉える工夫をするべきだと思う。
- ・資料2-3で挙がっている課題もごく一部でしかなく、本来は何百何千倍と課題があるはず。
- ・これだけだと置いてきぼりを食う人達がたくさんいる。

【事務局（小林部長）】

- ・おっしゃる通りだと思う。
- ・計画を作るとき、どうしても薄く広く調査をしなければと思いがちだが、障害の分野はそうではない部分がたくさんあると思う。
- ・他の分野だと1人しかニーズがないからやらないという選択肢もあるが、障害の場合は1人でもやらなければならないことがあると思っている。
- ・松原委員がおっしゃったように、委員の皆様の方で調べられたアンケート等があるのであれば、ぜひ協議会の中で共有いただいて、次期計画にも反映させていきたい。
- ・今回のアンケートだけでは足りない隙間が出てくるということも自覚しているので、そういったところを皆様から意見をいただいて埋めていきたい。

【大久保委員】

- ・障害の種類や程度は個々に違うので、この計画策定の機会に当事者一人一人の声を広げていけるようにしていければと思う。
- ・また、各委員で色んな調査等もしているようなので、個人情報に反しない程度に開示いただいて、それもあわせて計画に盛り込んでいけるとよい。
- ・それでも恐らく、一人一人の要望に応えるというのはなかなか難しいと思うが、何回も何回も何年にも渡って声をあげ、ようやく要望が通ったということもあるので、少しずつでもよいので皆さんの声を聞かせていただきながら進めていければと思っている。

【西山委員】

- ・ニーズ調査について、医療的ケア児は、年齢が幼いため必ずしも手帳を持っているわけではないが、今回の調査対象の中にどれだけ含まれているのか。

- ・また、過去、重心医療的ケア部会で医療的ケア児の実態についてアンケート調査をした経緯がある中で、そういった手帳を保有していない障害児のニーズについては、どのように調査しようと考えているか。

【事務局（八木副課長）】

- ・どうしても手帳を持っている方の情報しか市ではデータを持っていないので、今回は手帳を持っている方に調査をさせていただいた。
- ・現在、アンケートを集計している途中だが、既に何件か切実な思いを書いている方もいた。
- ・手帳のない方のニーズについて、もし委員の方で把握しているようなら教えていただければありがたい。

【西山委員】

- ・例えば、市の方から担当の相談支援専門員を通じて調査をするという考えはないか。

【事務局（八木副課長）】

- ・サービスを利用していれば、アンケート調査の対象となっている。
- ・ただ、抽出なので医療的ケア児の方に必ずアンケートがいているとは限らないので、医療的ケア児のニーズ調査について後日ご相談させてほしい。

(5) その他

(意見なし)

9 問合せ先

健康福祉部福祉課 TEL：025-520-5694

E-mail：fukusi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。